

ルネサンス

☆¹ 共和国：トスカナ地方の都市共和国。ルネサンス（古代ギリシア・ローマの文芸復興）の中心。

13c 皇帝派の貴族を、 教皇派の大商人が追放、共和政に。

14c 詩人² ：『神曲』は³ 語の大叙事詩。

詩人⁴ ：ラテン文学研究から 人文主義へ。『叙情詩集』

作家⁵ ：『デカメロン（十日物語）』で人間性を肯定。

14c 大商人の政権に対し、下層市民の不満高まる。

1378 チオンピの乱：下層市民の反乱を鎮圧。

15c 銀行家⁷ 家が下層市民の支持で台頭。 建築家⁸ ：サンタ=マリア大聖堂大ドーム **B**

• **コジモ**

：銀行頭取、国家元首。事実上の僭主。

莫大な私財を公共事業に投じる。

• **ロレンツォ**

： “豪華王”。芸術家たちの 保護者。

東ローマからの亡命学者を保護し、
プラトン=アカデミーを主催。



C



D



E

1492 ロレンツォの死：メディチ家衰退のはじまり。 画家⁹ ：ギリシア神話を題材に『春』**D** 『ヴィーナスの誕生』**E**

1494 僞王シャルル8世のイタリア侵入

⇒ 修道士¹⁰ の神権政治

⇒ 破門され、火刑に(1496)。フィレンツェ共和国復活。

政治学者¹¹

：近代政治学の祖。イタリア統一の急務を説く。

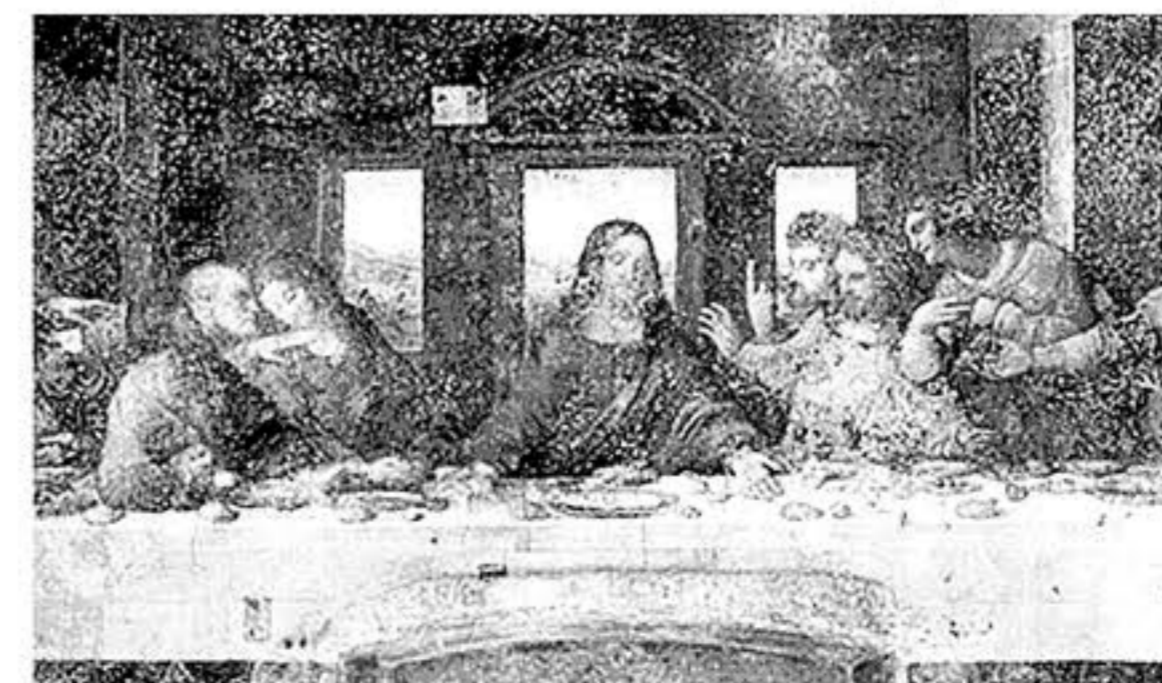
『ローマ史論』：共和政ローマの研究。

『君主論』：君主政の比較。政治と道徳を分離。

“君主には、狐の狡猾さと獅子の勇猛さが必要”



F



G



H



B

画家⁶

『聖フランチェスコの生涯』**A**



A

彫刻家ドナテルロ：『ダヴィデ』 『洗礼者ヨハネ』

画家マザッチョ：遠近法を確立。近代絵画の祖。『楽園追放』**C** 『三位一体』

(解答)

1 フィレンツェ

2 ダンテ

3 トスカナ

4 ペトラルカ

5 ボッカチオ

6 ジョット

7 メディチ

8 ブルネレスキ

9 ボッティチェリ

10 サヴォナローラ

11 マキアヴェリ

12 ミケランジェロ

13 レオナルド

=ダ=ヴィンチ

☆ローマ：ルネサンス期の教皇は、信仰よりも領土拡大と文芸保護に熱心。

✚アレクサンデル6世：サヴォナローラを破門(1496)。息子チェーザレ=ボルジアが武力で教皇領を拡大。

✚ユリウス2世¹⁴：大聖堂I改築を、建築家¹⁵に命ず(1506)。

画家¹²：システィナ礼拝堂天井画『天地創造』、壁画『最後の審判』J

画家¹⁶：優美な聖母子像多数。『アテネの学堂』

✚¹⁷：メディチ家出身。大聖堂改築のため贖宥状しよくゆうじょうを販売。(⇨宗教改革)

1521-¹⁸戦争：皇帝カール5世と仏王フランソワ1世がイタリアで戦う。

⇨皇帝軍のドイツ人傭兵によるローマ略奪(1527)⇨イタリア=ルネサンスの終末。

1530 フィレンツェ陥落⇨共和政崩壊、メディチ家の専制政治(トスカナ大公国)。

✚パウルス3世：反宗教改革。イエズス会認可、英国王を破門。宗教裁判所を常設。



- 14 サン=ピエトロ
- 15 ブラマンテ
- 16 ラファエロ
- 17 レオ10世
- 18 イタリア
- 19 エラスムス
- 20 セルバンテス
- 21 ラブレ
- 22 モンテーニュ
- 23 チョーサー
- 24 トマス=モア
- 25 シェークスピア
- 26 ファン=アイク
- 27 ブリュゲル
- 28 デューラー
- 29 ホルバイン

☆西欧ルネサンス：イタリア戦争後、ルネサンスの中心はアルプス以北の国々へ。

蘭¹⁹：『愚神礼賛』(1509)で教会批判、宗教改革に影響。「エラスムスが産んだ卵を、ルターが孵かえした」

西²⁰：レパント海戦に参加。『ドン=キホーテ』で騎士道を笑う。独²²ロイヒリン：ヘブライ語の聖書研究。ユダヤ人を擁護。

仏²¹：巨人物語『ガルガンチュアとパンタグリュエル』。独²²：『随想録(エッセイ)』で寛容の精神を説く。

英²³：『カンタベリ物語』は最初の英文学。英国版テモロン。英²⁴：『ユートピア』で囲い込みを批判。

英²⁵：悲劇『ハムレット』『オセロー』『マクベス』『リア王』

ヘンリ8世の首長法に反対して、刑死。



万²⁶兄弟

万²⁷：農民画家。

独²⁸：宗教画「四使徒」M

独²⁹：「エラスムス像」N、「ヘンリ8世の肖像」O

：油絵技法を完成。K

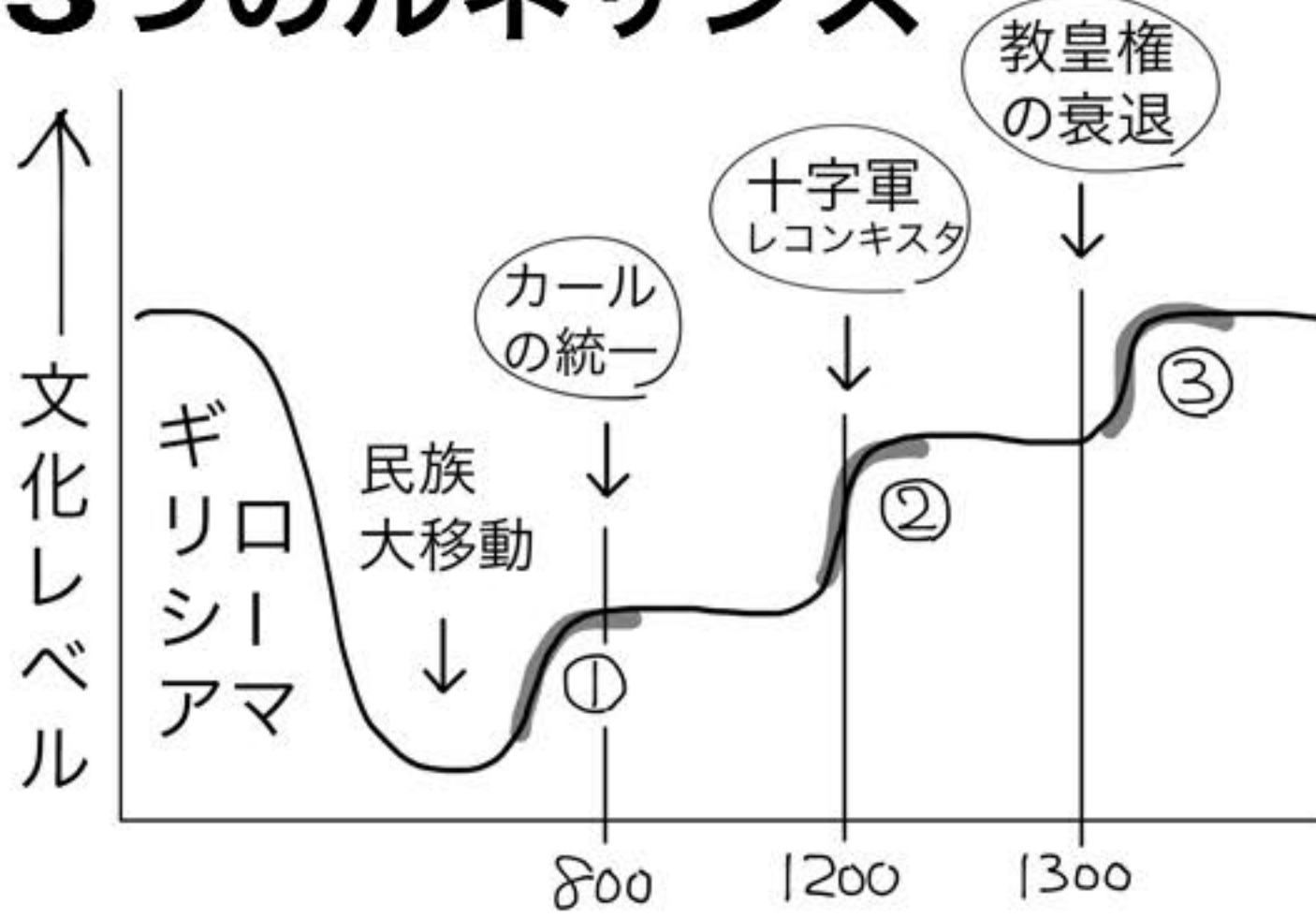
庶民を描く。「百姓の踊り」L

：宗教画「四使徒」M

：「エラスムス像」N、「ヘンリ8世の肖像」O

☆三大発明：火薬・羅針盤は、宋代中国で発明。イスラムを経て西欧へ。活版印刷は独²⁹グーテンベルクが発明(1450)(⇨宗教改革)

3つのルネサンス



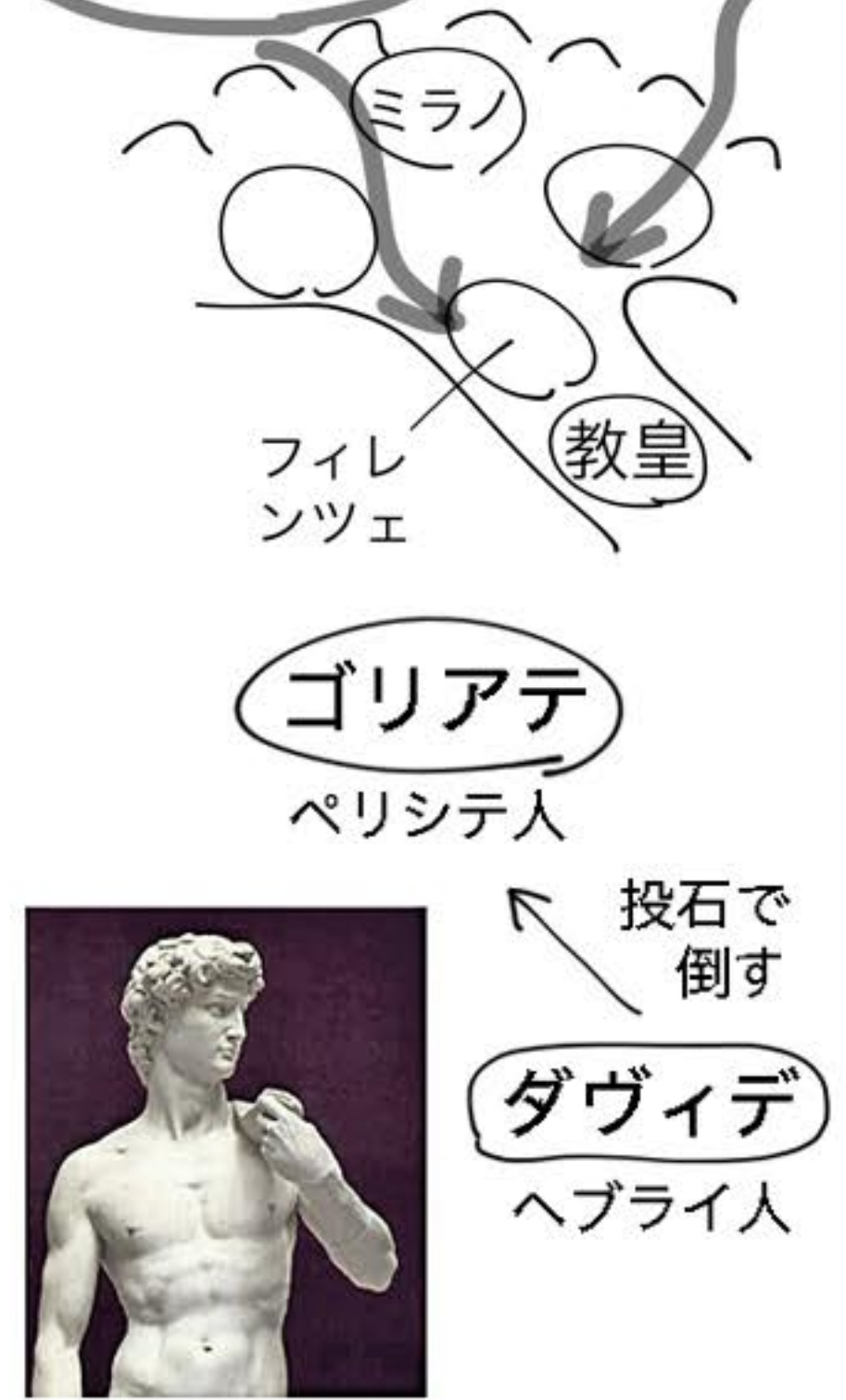
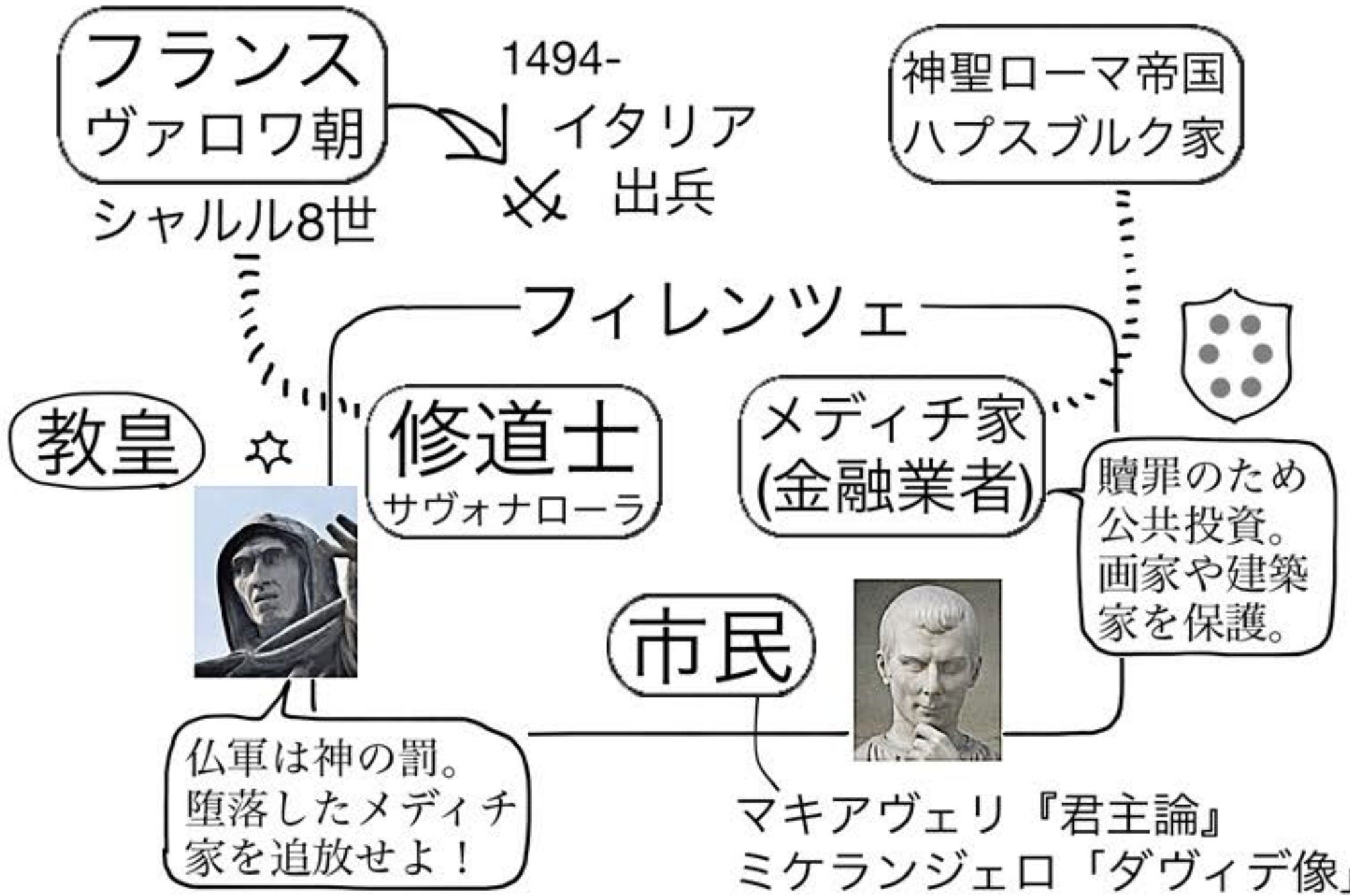
- ① カロリング=ルネサンス...ラテン語教育
- ② 12世紀ルネサンス...神学(スコラ学)
- ③ イタリア=ルネサンス...文学(人文主義)



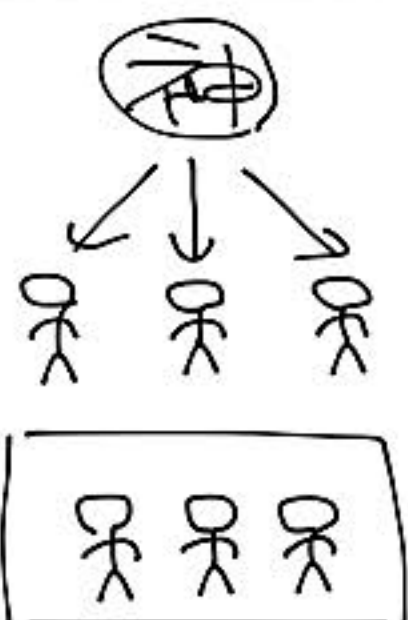
- ① バグダードの「知恵の館」(ギリシア語⇒アラビア語)
- ② イベリア半島のトレド(アラビア語⇒ラテン語) ⇒12世紀ルネサンス



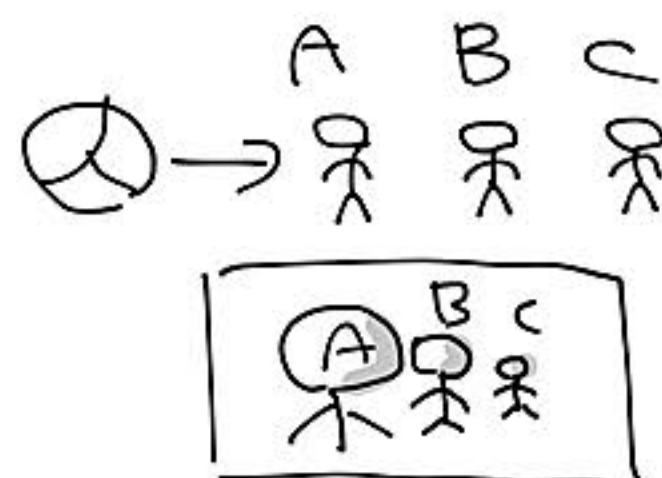
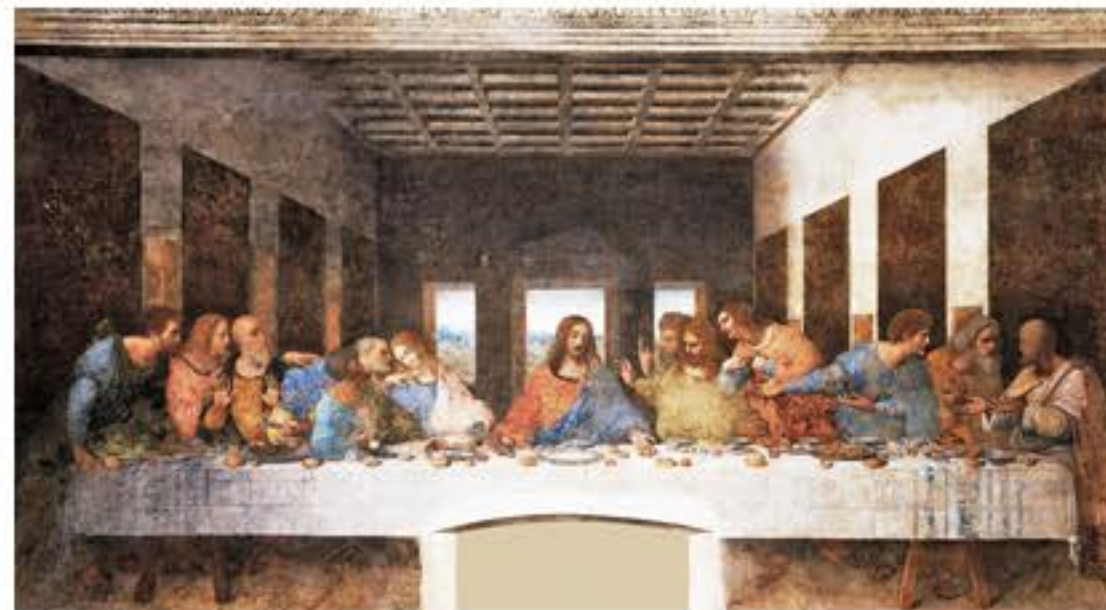
イタリア戦争とフィレンツェ



中世絵画



ルネサンス (遠近法)



ルネサンス期のフィレンツェについて、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。
『君主論』『ダヴィデ』サヴォナローラ

イタリア-ルネサンスの展開について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。
教皇権 メディチ家 『愚神礼賛』 遠近法

ルネサンスの文学

ダンテ『神曲』…トスカーナ語(俗語)の叙事詩



▲ 森をさまようダンテ

序曲
森の中



▲ ダンテを導く
ヴェルギリウス

天国
33曲

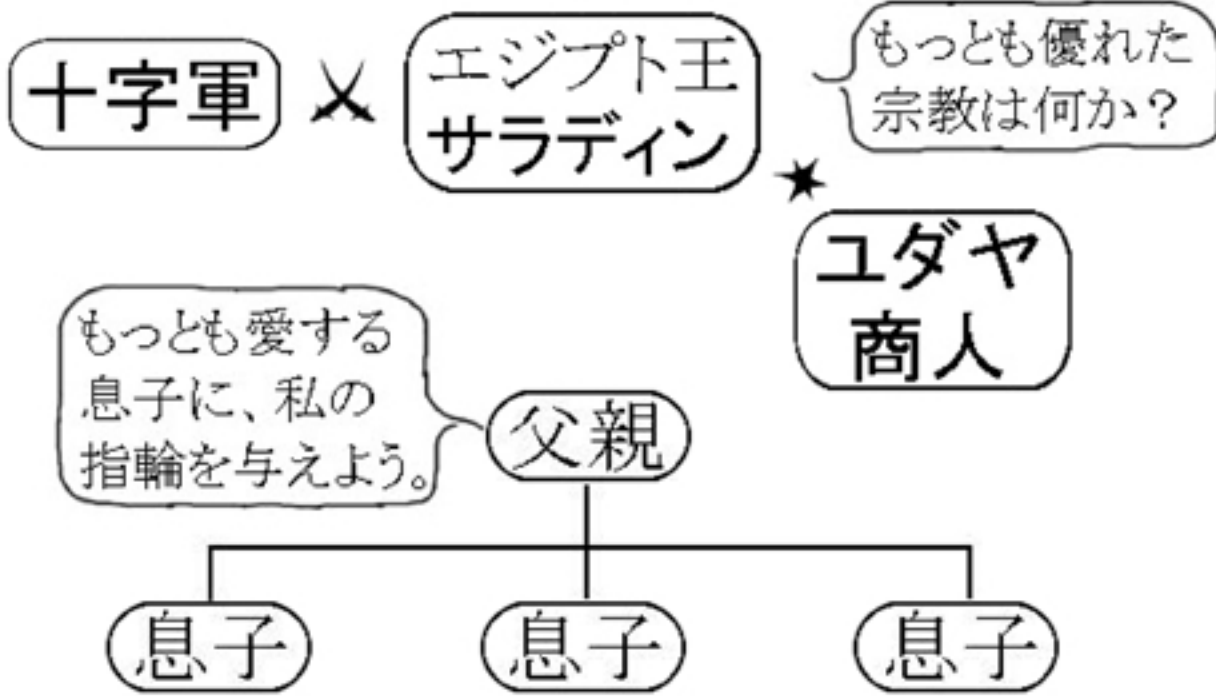


▲ ダンテを導く
ベアトリーチェ

地獄
33曲

煉獄
33曲

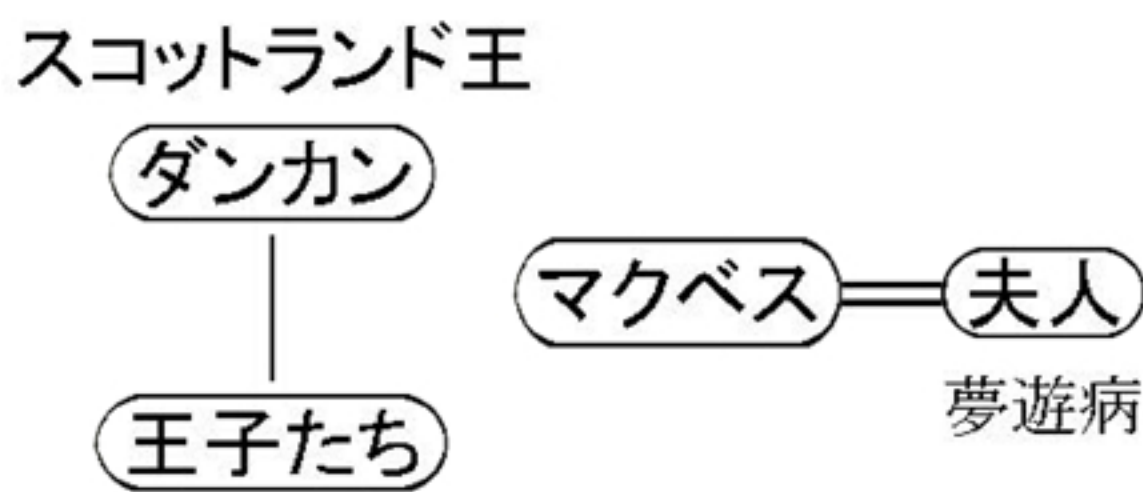
ボッカチオ『デカメロン』



セルバンテス『ドン=キホーテ』



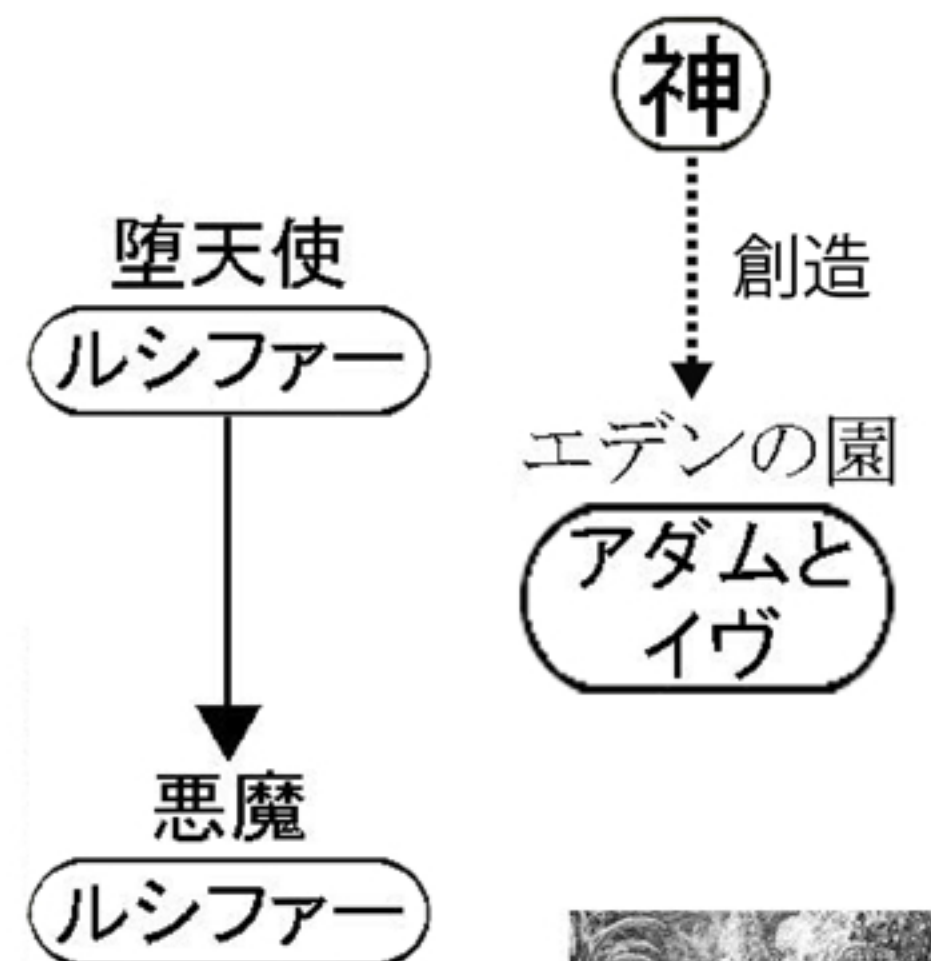
シェークスピア『マクベス』



ミルトン『失楽園』



▲ 墮天使ルシファー



▲ 3人の魔女の予言を聞くマクベス

3人の魔女の予言

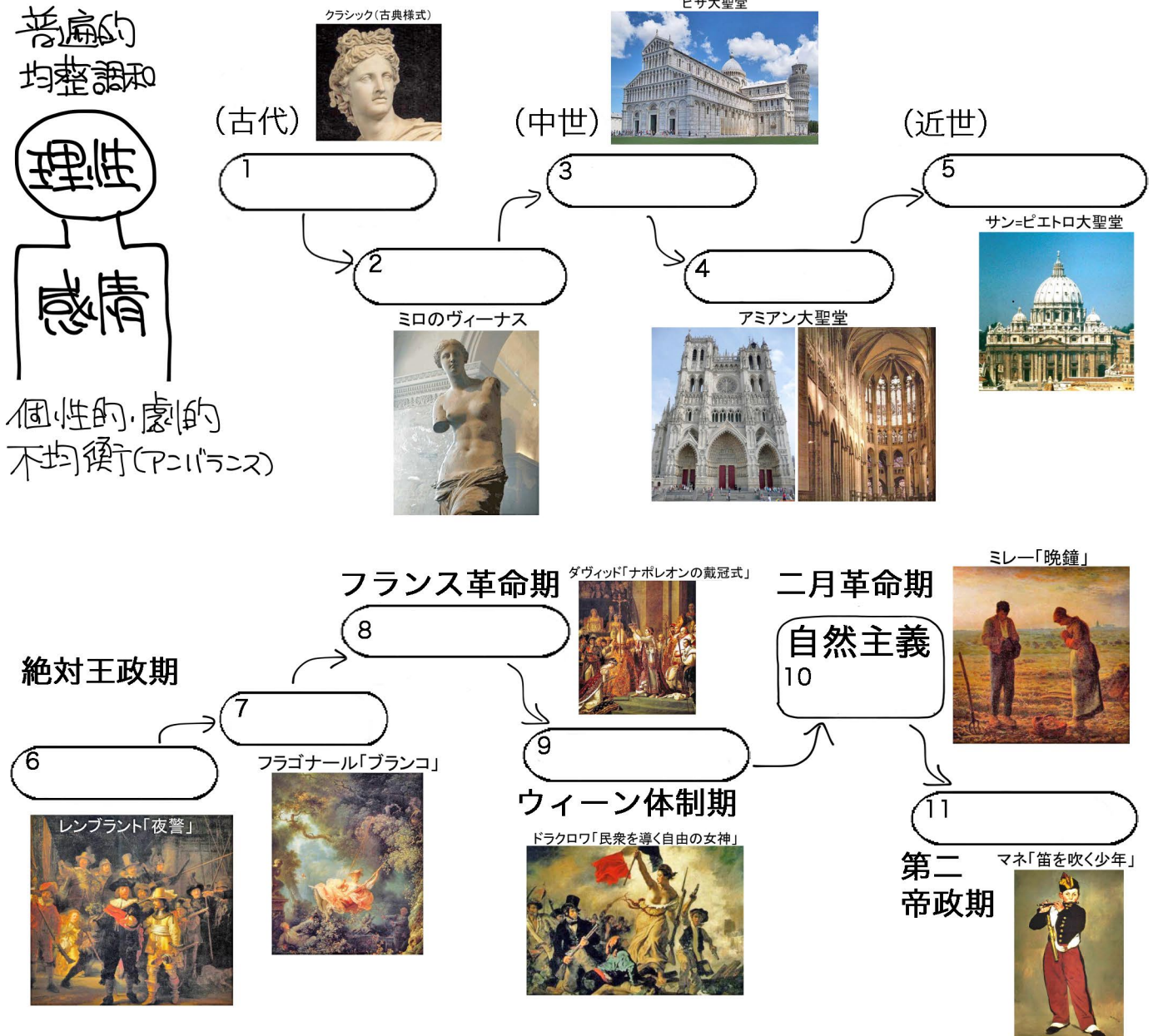
- ・マクベスが次の王。
- ・でも、その次の王は、マクベスの子ではない。
- ・マクベスは倒れない。
- ・バーナムの森が動かぬ限りは。



▲ 楽園に忍び寄る蛇

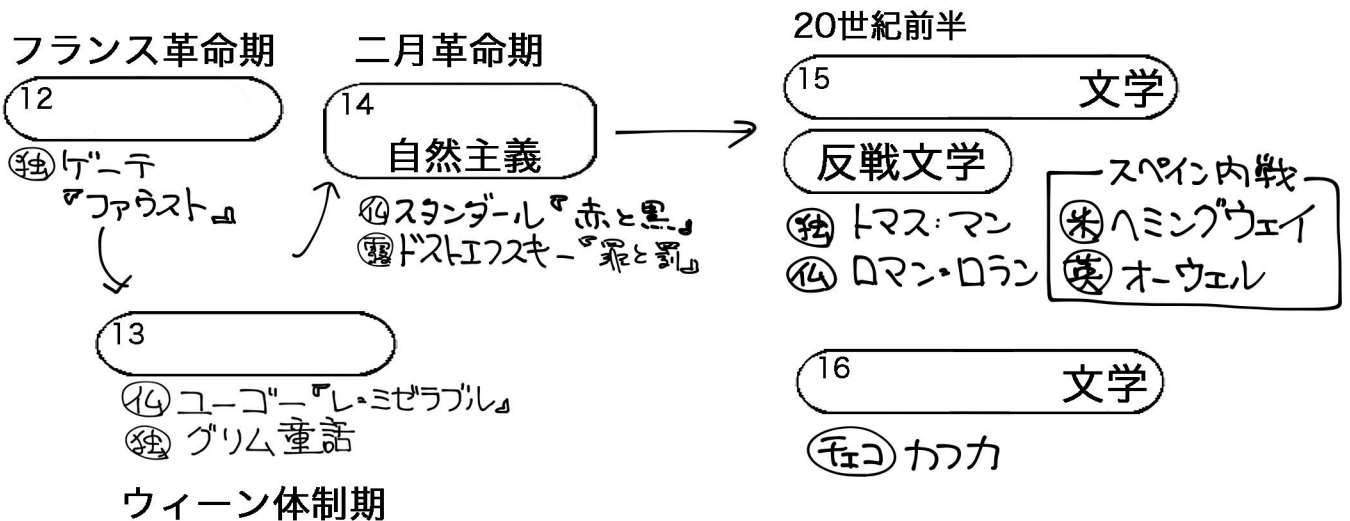
西欧美術史の流れ

1 古典主義 2 ヘレニズム 3 ロマネスク 4 ゴシック 5 ルネサンス
6 バロック 7 ロココ 8 新古典主義 9 ロマン主義 10 写実主義 11 印象派



西洋文学史の流れ

12 古典主義 13 ロマン主義 14 写実主義 15 プロレタリア 16 実存主義



絶対王政期の文化

①美術

17世紀 ¹ 様式：豪壮華麗。強大な王権を象徴。ルイ14世様式。

ルイ14世の

³ : 宮廷画家。「ブレダの開城」**A**、「女官たち」

² 宮殿

⁴ : 宗教画家。「受胎告知」、「オルガス伯の埋葬」

⁵ : 暖かい色彩で下層民を描く。「乞食の少年」

⁵ : ネーデルラント総督の宮廷画家、外交官。

「マリ=ド=メディシスの生涯」、「キリスト降架」

⁶ : 英王の宮廷画家。「狩猟服のチャールズ1世」

⁷ : 光と影の画家。市民の肖像が多数。「夜警」**B**

⁷ フェルメール：室内画。絶妙な光の表現。「青いターバンの少女」



A



B



18世紀 ⁸ 様式：繊細優美。宮廷文化の洗練。ルイ15世様式。

⁹ フリードリヒ2世の ¹⁰ : 田園風景、宮廷風俗。「シテール島への船出」**C**

⁹ 宮殿 ¹¹ フラゴナール：官能的な宮廷画。仏革命で没落。「ぶらんこ」

C



②文学

17世紀 古典主義文学や仏宰相¹¹ のフランス学士院(1635)

¹² コルネイユの悲劇『ル=シッド』、ラシーヌの悲劇『アンドロマク』

¹² : 喜劇を完成。『タルチュフ』、『人間嫌い』、『守銭奴』

17世紀 英ピューリタン文学／風刺文学：市民階級のための文学。

¹³ : クロムウェルの秘書。失明し、王政復古で逮捕、財産没収。

楽園追放をテーマに、叙事詩『失樂園(Paradise Lost)』を口述。

¹⁴ : ピューリタン革命に参加。『天路歷程』でピューリタン精神を描く。

¹⁵ : 『ロビンソン=クルーソー』で人間の不屈の精神を描く。

¹⁶ : アイルランド出身。『ガリバー旅行記』は憎悪に満ちた風刺小説。

③世論形成の場：市民革命の思想はここから広まる。

¹² サロン：上流階級が、政治・文学を語る社交場。

¹² カフェ：身分に関わらず、政治・文学を語る場。

(英のコーヒーハウスも同じ)

④音楽：18世紀前半がバロック音楽、後半が古典音楽。

¹⁷ バッハ：“近代音楽の父”。教会音楽多数。

¹⁸ ヘンデル：ジョージ1世に仕え、渡英。『救世主(メサイア)』

¹⁹ ハイドン：“交響国の父”。古典音楽を確立。

²⁰ モーツァルト：早熟の天才。『フィガロの結婚』、『魔笛』

(解答) 1.バロック 2.ヴェルサイユ 3.ベラスケス 4.エルグレコ 5.ルーベンス 6.ファン=ダイク 7.レンブラント

8.ロココ 9.サンスーシ 10.ワトー 11.リシュリュー 12.モリエール 13.ミルトン 14.バンヤン 15.デフォー 16.スウィフト

近代哲学思想 (17~20世紀)

17-19c 近代哲学：宗教的抑圧からの解放。理性万能の時代。

大陸合理論：理性を信じ、数学的方法で真理を導く演繹法

独¹ _____：『方法叙説』(1637) “我思う、ゆえに我あり”

⇒ 蘭スピノザ、独パスカル、独ライプニッツ

19c- ドイツ⁷ _____ 論：経験論と合理論とを総合

独⁸ _____：『⁹ _____』(1781)で理性の限界、

『永久平和のために』(1795)で国際連盟を説く。

独¹⁰ _____：仏革命に共感。ナポレオン戦争後は民族主義へ転向。

講演「ドイツ国民に告ぐ」。ベルリン大学初代総長。

独シェリング：ロマン主義の影響で、理性と自然の融合を説く。

独¹¹ _____：真理は矛盾を克服して発展する (¹² _____ 法)

世界史は絶対精神の展開。『精神現象学』

英国経験論：感覚を信じ、実験観察から真理を導く帰納法

英² _____：『新オルガヌム』で経験論を確立。

⇒ ホブズ、ロック (『人間悟性論』) が継承、社会契約説へ。

19c- ³ _____ 主義：道徳も科学的に計量化できる

英⁴ _____：“最大多数の最大幸福” ⇒ 第1回選挙法改正。

英⁵ _____：『自由論』(1859)は自由主義の古典。

英⁶ _____：社会進化論の祖。宇宙生成から人間社会まで。

19c- ヘーゲル左派：観念論批判、唯物論へ (⇒ エピクロス)

独¹³ _____：唯物論から宗教を説明。『キリスト教の本質』

独¹⁴ _____：ユダヤ系。ヘーゲルの弁証法と唯物論を融合。

⇒ 生産力と生産関係から歴史を説明する¹⁵ _____。

英古典派経済学と独社会主義を批判して共産主義を説く。

『ドイツイデオロギー』『共産党宣言』(1848)『資本論』(1867)

Rationalism

大陸合理論 (演繹法)

数学的推論で証明できることは正しい。



デカルト『方法叙説』

Empiricism

イギリス経験論 (帰納法)

実験・観察(経験)で証明できることは正しい。



フランシス=ベーコン『新オルガヌム』

Idealism

ドイツ観念論

- ・純粋理性…人間が先験的(先天的)に持つ認識能力。これに経験が加わって正しい判断ができる。
- ・実践理性…経験しなくても真理を判断できる能力。道徳。



カント『純粋理性批判』

哲学思想史 (17~20世紀)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 デカルト | 9 純粋理性批判 |
| 2 フランシス=ベーコン | 10 フィヒテ |
| 3 功利 | 11 ヘーゲル |
| 4 ベンサム | 12 弁証 |
| 5 J. S. ミル | 13 フォイエルバッハ |
| 6 スペンサー | 14 マルクス |
| 7 観念 | 15 唯物史観 (史的唯物論) |
| 8 カント | |

近代科学思想

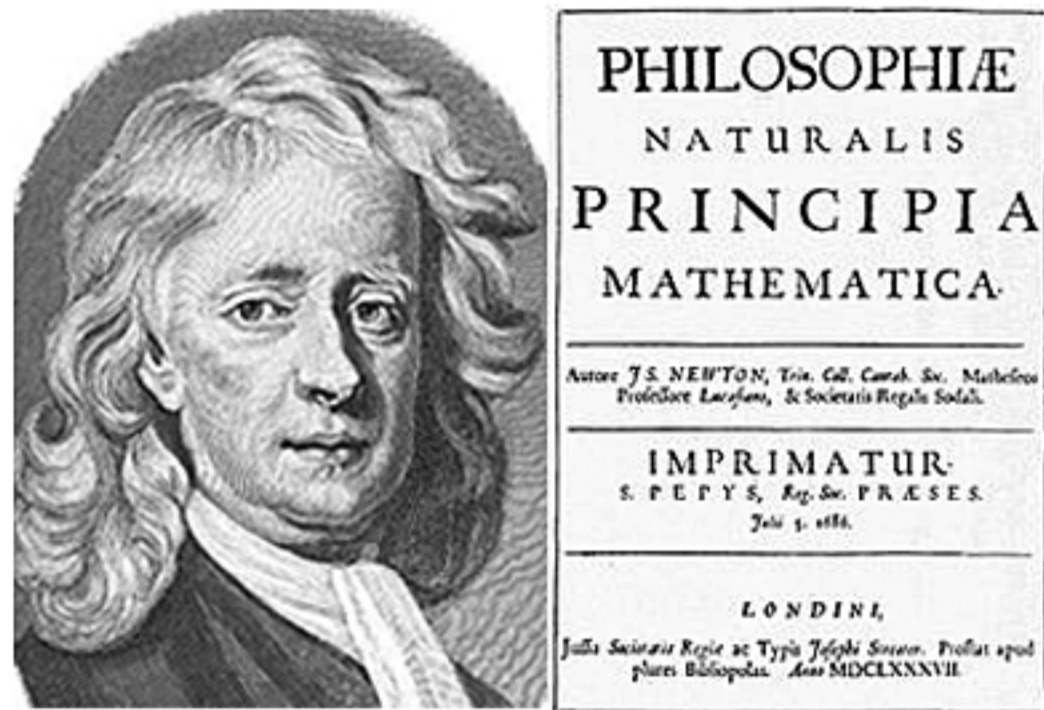
☆科学革命:17世紀を中心とする近代科学の確立と世界観の大転換。

- ☎¹ _____: 『天球の回転について』で太陽中心説(地動説)を論証。
- 伊² _____: 地動説と汎神論を唱え、ローマの宗教裁判で火刑に。
- 伊³ _____: 天体観測により地動説を支持。宗教裁判で自宅軟禁に。
- 独⁴ _____: 三十年戦争の時代、ベーメン王に仕え、惑星の運動法則を発見。
- 英⁵ _____: 心臓ポンプ説、血液循環の理論、チャールズ1世の侍医に。
- 刃⁶ _____: 動植物の分類学。学名の付け方(○○属○○科)を確立。
- 英⁷ _____: 『プリンキピア(諸原理)』(1687)で万有引力と古典力学を確立。



音声解説
科学革命
医学・生物学

- (解答)1.コペルニクス 2.ジョルダノ=ブルーノ 3.ガリレオ=ガリレイ
4.ケプラー 5.ハーヴェイ 6.リンネ 7.ニュートン 8.ジェンナー
9.パストゥール 10.コッホ 11.北里柴三郎 12.メンデル 13.ダーウィン



▲ ニュートン『プリンキピア』
(自然哲学の数学的諸原理)

電磁気学

- 米¹⁴ _____: 雷が電気であると証明。米独立戦争時の外交官。
- 伊¹⁵ _____: 塩水と金属板で電池を発明(1800)⇨電圧V(ヴォルト)。
- 仏アンペール: 電気が磁界を発生することを発見⇨電流A(アペア)。
- 英¹⁶ _____: 電気モーター(1821)、発電機(1831)を開発。
電気分解の法則、電磁誘導の法則を発見。
- 英フレミング: 電流・磁界・力の関係を“左手の法則”で説明。
- 英¹⁷ _____: 電磁気学を4つの方程式にまとめる。

熱力学

- 独マイヤー・独¹⁸ _____: 熱=力のエネルギー保存の法則を発見。(⇨内燃機関の開発)

化学

- 仏¹⁹ _____: 燃焼理論。「酸素」を命名。フランス革命で刑死。
- 独リービヒ: 有機科学の基礎理論を確立。窒素肥料の開発。

原子物理学

- 独²⁰ _____: X線(95)⇨~~仏~~²¹ _____夫妻: ラジウム。
- 独²² _____: ユダヤ系。『特殊相対性理論』を発表(1905)。
⇨光速不変の原理から時空の相対性を導き、ニュートン力学を修正。
⇨ナチスに追われ、米大統領に原爆開発を進言。戦後は反核運動。
- 独ボーア 独ハイゼンベルク: 量子力学と不確定性原理。

医学・生物学

- 英⁸ _____: 天然痘ワクチン(種痘法)を開発。
- 仏⁹ _____: 乳酸菌を発見。低温殺菌法、狂犬病ワクチン。
- 独¹⁰ _____: 結核菌・コレラ菌を発見。ツベルクリン開発。
- 日¹¹ _____: 仏イェルセンと同時にペスト菌を発見。
- 英フレミング: 青カビから抗生物質ペニシリンを開発。
- 奥¹² _____: エンドウマメの交配実験。遺伝の法則を提唱。
- 英¹³ _____: 『種の起源』(1859)で進化論を提唱。

科学技術

- 英ベッセマー: クリミア戦争中、転炉を発明。鋼鉄を大量生産。
- 独クルップ: 普仏戦争に貢献、製鉄・兵器・造船の独占企業に。
- 独²³ _____: 電気機関車(79)、海底ケーブルで独占企業に。
- 米²⁴ _____の電信(37)⇨~~米~~²⁵ _____の電話(76)。
- 米²⁶ _____の蓄音機(76)⇨~~英~~²⁷ _____の無線(95)。
- 独²⁸ _____のガソリン自動車(85)。
- 独ディーゼルの軽油自動車⇨ライト兄弟の飛行機(1903)。
- 刃²⁹ _____: 黒色火薬に代わるダイナマイトを開発。
⇨莫大な遺産を投じて²⁹ _____賞を創設(1901-)
- 独ハーバー: 大気中の窒素を取り出すハーバー・ボッシュ法を確立。
⇨第一次大戦で独の毒ガス作戦を指揮。
- 伊フェルミ、~~米~~³⁰ _____: 米のマンハッタン計画を指揮。原子爆弾を開発(45)。

- 23.ジーメンス 24.モールス 25.ベル 26.エディソン
27.マルコーニ 28.ダイムラー 29.ノーベル 30.オッペンハイマー

汎神論



理神論



神は宇宙に遍在する。
宇宙すなわち神である。
神が定めた自然法則に従い、
自動機械のように動き続ける。

- (解答)14.フランクリン 15.ヴォルタ
16.ファラデー 17.マックスウェル
18.ヘルムホルツ 19.ラヴォワジエ
20.レントゲン 21.キュリー
22.アインシュタイン

音声解説
電磁気学
熱力学
原子物理学